



2022-2023 年度 第 2 号 東新部部報

2023 年 10 月 1 日発行
通巻:第 63 号
発行者:深尾香子
編集者:伊藤幾夫

深尾直前部長 エルマー・クロウ賞 おめでとうございます！



2023-2024 年度東新部部长深尾香子さんが「ワイズメンズクラブ国際協会からエルマー・クロウ賞受賞」の知らせを東日本区佐藤重良直前理事より受けました（2023 年 7 月 15 日）。

おめでとうございます。

「エルマー・クロウ賞」は任期中に特に傑出した働きをした部長に与えられる国際賞です。すばらしい名誉ある賞です。みなさんご存知のように深尾さんは昨年度、東新部部长主題として「ALL 東新部」を掲げ「部内のクラブで起きている会員減少、活動の停滞などを、クラブの問題としてではなく、東新部全体の問題として取り組んでいく」ことを提言し、リーダーシップを発揮されました。活動が停滞しているクラブへの積極的な訪問、ニーズの応答、次代を担うユースへの積極的な関り・支援、クラブ活動を楽しむための工夫、クラブの統合などを推進してきました。7 月には新生東京多摩スマイルクラブが誕生しました。また、ご自身のプロボノ（専門的スキルの活用）を発揮されて、東京 YMCA 国際部のニーズに応じて、留学生に「茶道のおもてなし」の奉仕もされてきました。今後、東日本区、東新部、クラブでのますますの活躍が期待されます。

（部直前書記：伊藤幾夫）

2022-2023 年度 部長報告

2022-2023 年度部長 深尾香子（東京多摩みなみ＝現東京多摩スマイル）

1.主題 ALL 東新部、始動！「Change！2022 ラストスパート、ポスト 2022 始動」

2.活動方針及び計画

(1)活動方針について

年初、公式の場において、東新部は東日本区の中での「最長老部」と宣言し、皆さまには無理

なく頻繁に連絡を取り合っ(*)) いただくようお願いを致しました。その結果、多くの協力を得ることが出来、充実感が味わえ、今後の可能性に期待感が持てたかと思ひます。ほぼ前期中には、クラブ間の垣根を越えて会員間で現実を正しく捉え、連帯感が増したと考えています。

後期は、これを受け、次の目標「他の部のお手本」になろう！と声をあげさせていただいたところ、疑問や不安などを届けて頂き、特に解散の危機を抱えたクラブの存続についても多くの方が心を痛め、声を掛け続けて下さいました。和やかな対話の中から、パソコン勉強会、ワイワイウォーク等、楽しみながら、新しい企画が立ち上がった事にも感謝申し上げます。(下記「Y友広場」の項、参照)。

次期は、今年度方針の継承、発展を掲げて頂きましたので、トロイカ体制として今井部長と共に歩んで行きます。

これらの結果、役員や有志によって部内は明るく改善して来ましたが、一方で顔を合わせる機会の少ないメンバーには未だ浸透出来なかったのではないかと危惧しています。コロナについても、国は2類から5類へと舵を切りました。安心安全への気遣いを忘れてはいけませんが、今後は対面・対話の機会が増えることを期待します。

(*)) Zoom、LINE、FaceBook、各種メッセージアプリ、メール、手紙、電話、留守番機能、メネット or コメントへの伝言含む。

(2)活動計画 報告

会長会 (毎月第二水曜日 19:00~20:30 Zoom)

- ・東京センテニアルクラブの現状を共有
電話や訪問を行い会長、担当主事との情報交換を継続中。直ぐに結果は出せないとしても、設立当初の目的を見失わないようにしよう！
- ・プロボノ発掘。目的は、各種行事への技術提供。例会卓話者、役員選出の参考他。
- ・在京ワイズ新年会 (1/7) のホスト、世田谷クラブに対し、当日スタッフとして各クラブから多数参加。
- ・パソコン等スキルアップ自主学習会を受け、部としてカリキュラムの検討を開始。

Y友広場 (毎月第二木曜日 19:00~20:30 Zoom)

- ・クラブ活性化についての議論を継続中。
- ・パソコン等のスキルアップについて、自主学習会 2回開催。
- ・会員間の懇親を兼ねたウォーキングの会の実施が決定 (5/3)

女子会 区メネット委員長から招集 (2/20、3/13) のあった、メネット活動の今後の在り方について、部女子有志、メネット (コメント含む) により検討を実施 (3/1、3/30) したが、引き続きメンによる各種事業へのサポートと、健康面についても情報交換したいという意見が出ています。

ユース支援 対象団体：NPO 法人メタノイア。不定期。Zoom にて月 1 回程度

- ・活動報告を聴き、会長会で共有。
- ・ワイズ例会等へ卓話を依頼 (8/2、10/8 の成果から 1/27 依頼あり**)
- ・クラウドファンディング活動の情報拡散と寄付協力 (8、9月)

- ・活動現場視察（11/30）、会員所属教会等への紹介の試み（12月～1月）
- ・区ユース事業委員会との共有～5月オープンフォーラムで基調講演。
- ・東京YMCAによる「居場所事業」の展開に伴い、伴走する方向で進みます。

『日本YMCA 災害時エリアセーフティガイドライン』学習会
実施出来ず。次年度への引継ぎ事項とします。

ワイズ100周年、東西日本区25周年記念 第3回東西日本区交流会（2/4～5）

参加者により各ブリテンに掲載済みですが、充実した内容と活気に富んだ会場から多くのエネルギーを感じることが出来、ワイズの団体としての力に希望を持たれた2日間でした。

「統合」によるクラブ体力の増進

ALL 東新部を表す一つの形として、多摩・町田エリア2クラブによる統合→合併を達成したところ、他部から複数の関心が寄せられています。

3. 行事（予定通り実施出来ました。）

部大会 10/8、

評議会 7/23、11/26、4/22（含む次期クラブ役員研修会）

EMCセミナー 2/25、

次期役員研修等 1/28、3/25

次期部事業・運営引継会 2023年5月27日(土)

以 上



東新部部大会：10月8日(土)13:30～16:40、在日本韓国YMCA9F国際ホールに59名参加

東新部役員の振り返り

時代の変化を肌で感じる

次期部長 今井武彦（東京むかでクラブ）

東新部次期部長としてのこの1年間は、新たな学びの1年間でした。深尾部長の方針を理解することから始まりました。「ALL 東新部 始動！」が何故必要なのか？ 東新部として何ができるのか？私のライズに対する考え方の修正を迫られました。従来のクラブ毎に活動していけばよいとの考え方から、部単位での活動を進めるとの方針の採用でした。そのために、Zoomでの毎月の会長会開催、Y友広場の毎月の開催を導入し、部内のコミュニケーションの活性化をはかり、さらに会員の減少、高齢化に対処した「クラブ統合」を掲げて、進めてきました。あつという間の1年間でした。継続中の課題もありますが、YMCAと連携しながら、次期につなげて行きたいと思います。

ユースの力を！

直前部長・エクステンション委員長

松香光夫（東京町田コスモス）

それぞれのクラブメンバーが自らの活動に限りを感じられた時に自分ができることを考え直してみたい。手始めにできることは、自分以外の力を取り入れることはどうだろうか。東新部の場合オール東新部として力を合わせる方向性として極端な例ではあるがクラブの合併が建設的と言えるだろう。その勢いをもっと広げるとすれば、仲間の力を活用することを考えたい。その勢いに慣れてくれば、繰り返しの力となってあらわれてくるのではないか。この方向をさらに広げるには、例えば、ユースの力をより積極的に活用することを考えたい。その点でこの夏にアジアで行われるコンボケーションに若者を送り出すのは私たちの力を広げるのに役に立つと考えたい。

深尾さんの発想の豊かさ

書記 伊藤幾夫（東京多摩みなみ）

この1年間、部書記として、深尾部長と共に歩んできました。「ALL 東新部」という主題を掲げたのは、今後の東新部を考えたときの発想だということが1年を終えた今、確認できます。「もう、1つのクラブだけの努力では解決できない段階にきている」との認識は、今やクラブのみなさんが実感されているのではないのでしょうか。クラブで解決できないことを東新部全体で考えていく方向性が見えてきました。深尾さんの発想の豊かさを継続して、今後の東新部に希望を見い出しましょう。

2022-2023 年度を振り返って

会計 綿引康司（東京多摩みなみ）

東新部役員は初めての経験で、部という組織では当たり前なことでも、見るもの、やる事、全て「理解すること」から始まるので、部役員の皆様や各クラブの会長、会計担当の方々に大変迷惑をお掛けしたと思います。

幸運だったのは東日本区事務所は小林所長さんが私と同業界のご出身で、キャリアも似ていたことで話しが弾み、度重なる質問に対してもご親切にご指導いただいた点です。

次年度は会計職を離れ、CS/Yサ担当です。何か新しいことが出来るようチャレンジします。

ALL 東新部、主題がよかった！

監事 佐藤茂美（東京）

部長の活動計画として、毎月会長会が開催されました。過去3年、新型コロナ禍のために対面での委員会が開けず、部の役員スタッフは大変苦勞してきましたが、多忙のなかでも Zoom での会合を前向きに勧めてくださった姿勢を大きく評価し、感謝しています。会員減少によることで各クラブは大いに悩みました。ワイズメンの働きを広く勧めたい思いが募り、Zoom による P・C 技術の勉強、Y 友広場のかけ声があり、5月の連休には市川方面への散策も多数の参加により実行されました。ALL 東新部の新しいクラブの姿が見えてきたように思います。過ぎさりし3年間、数人の会員を天国におくりました。奉仕の姿勢を熱く語り、足がかりを作られた諸先輩の願いを今後も持続していきたいと思うこの頃です。「弧」を見逃さず、誰も置いてきぼりをしない、嬉しいこと、困ったことを共有して考える、素晴らしい1年でした。役員の方々の皆様、本当にお疲れ様でした。世の中の状況は日々変わってきています。YMCA は、子どもや青少年の健全な成長を願っていますが、戦争や飢餓についてもっと目をむけていきましょう。世界の平和のため、もっと祈りを強めたいと思うこの頃です。

深尾部長のリーダーシップ

監事 小川圭一（東京世田谷）

昨年度はコロナ禍からの脱却の年でした。各クラブ例会の持ち方に創意工夫がなされて、クラブの合同やメンバーの増強という流れが出来上がったことは喜びです。また、クラブ会長会が月例で開催されるなど、深尾部長のリーダーシップがいかに発揮された年度でした。

1年間のご協力に感謝申し上げます。

CS・Y サ事業主査 今村路加（東京町田コスモス）

コロナ禍でもこれまで担ってこられた事業を工夫しながら継続したり、コロナ5類移行後に事業再開したものなど、それぞれのクラブ活動を通じて地域にワイズメンズクラブの活動をアピールしていただきました。また、共通の取組として Week For Weste についても世界中のワイズとともに各クラブのワイズメンはもちろん、東京と東京むかでの合同、東京多摩みなみと東京町田コスモスと東京町田スマイリングの合同などでも取り組みが行われ地域にワイズ活動を PR しました。一方で CS 表彰と当初計画していたベルマークで地域との連携する取り組みは出来ませんでした。

イノベーション

会員増強事業主査 加藤義孝（東京）

2023年度6月末の東新部最終会員人数は74名でした。2021年1月1日では89名ですから2年半で15名減少となります。原因の一つとして高齢化にあります。東新部の平均年齢は73歳を超えています。若い人の入会がないためと高齢化してワイズをやむを得ず退会する人や他界された人もいます。残った人で会長や会計役員を担う人が少なく活力が失われている事が大きな要因であることは否めません。そして東日本区の中で東新部は歴史あるクラブが多く子クラブや孫クラブを立ち上げ東日本区に大いに貢献された先輩方が沢山います。今歴史ある東新部の状況を改善することは難しい状況にあると言わざるをえません。しかし、昨年度深尾部長の「オール東新部」のもと、イノベーションを起こし、2クラブ合同が実現に至ったことは誠に喜ばしく希望となりました。このことは新年度の今井部長のもとに継承され、会員増強の手がかりとなることを願っております。

活動レポート

国際・交流事業主査

為我井 輝忠（東京町田スマイリング）

国際・交流事業主査は2度目となりましたが、2020～2021年度の初めての時は1年間何も活動らしきものではなく、一度も集まったことはありませんでした。総括らしきものもなく、これはコロナ禍ということもあったかもしれません。

今回、主査として再度担当しましたが、前回とは全然違っていました。東日本区国際・交流委員会の利根川委員長の下で月1回 Zoomでの定例会を持ち、話し合いの時がもたれ、諸問題が話し合われました。「未来に向けて、世界に繋がる奉仕活動を活性化しよう～国際・交流事業に興味関心をもってもらえる情報提供～」というテーマを掲げて、活動してきました。以下のようなものが今年の重点テーマでした。

1. BF 献金（使用済み切手の活用）
2. 東西日本交流会
3. DBC プロポーズ大作戦
4. 100周年記念祝賀会（台湾での開催）
5. 第3回東日本区大会

ユースとの架け橋となって

ユース事業主査 城田教寛(東京町田スマイリング)

ユース事業員会を毎月1回開催(オンライン)、埼玉クラブ衣笠ユース事業主任のもと、東日本区他のユース事業主査さんとの情報共有、懇親が図られ大変有意義なものになりました。

Y's×SDGs Youth Action2023へエントリーしたNPO法人メタノイア（海外にルーツを持つ子どもたち）への支援をユースやワイズたちを巻き込み、「オール東新部」として東新部全体でサポート、次年度今井年度も継続。2023年8/25(金)～29(火)ネパールで開催されるIYC（インターナショナル・ユース・コンペケーション）に東新部内からユースの派遣の実現に向けて始動。現在、東京町田コ

スモスクラブのメンバーとの繋がりがああるユース派遣に向けて検討中。東新部としても全面的に支援をしていきたいと思ひます。

第26回東新部大会を振り返って

部大会実行委員長 加藤義孝（東京）

「初心に帰って、ユースの声に耳を傾けよう！」をテーマに部大会の方向性を深尾部長に示して頂きました。私達の東新部は「最長老部」で有ることは部報によって示されています。だからこそ若返りを切に願ひ、若者に注視して行こうとの思ひは、5年先10年先を考えていたテーマであったと思ひます。この先東日本区の将来を考えた時、東新部が率先してポスト2022を掲げて行こうとの深尾部長の思ひでした。

研修では「海外にルーツを持つ子供達への支援」をNPO法人メタノイア代表山田拓路氏、「母国への誇りを育む」を在日本韓国YMCA主事田附和久氏の発題がなされました。今後、在日本韓国YMCAが継続運営の見通しがわからない状況とのことも共有し合いました。YMCAカヤグム教室の金幸子氏による演舞の披露があり、心を動かされました。また、メタノイアの活動に東新部が少しでも貢献できることを今井部長の活動年度に期待致します。今年度の部大会のために会場を貸して頂き大きな貢献をして下さった在日本韓国YMCAに深く感謝致します。

東新部のヒストリーを積み上げる

ヒストリアン 伊丹一之（東京むかで）

ヒストリアンが収集して保存しているものは、その年度に部が発行した部報、評議会や役員会の資料、部大会のパンフレット、部のイベントの情報などです。各クラブのブリテンは、ウェブマスターの長澤山泰さんが収集して、東新部のホームページに格納されています。

コロナ禍の時期では、部大会や評議会などもオンラインのみで行われていましたが、深尾部長

年度では対面での交流が多くなってきました。やはりワイズは多くの方との交流が図れることにメリットがあると思いますので、オンラインと対面をうまく使い分けて、ワイズの活動がますます活発になりますよう、祈念しております。

ウェブマスターより

ウェブマスター 長澤山泰（東京クラブ）

東新部ホームページ（以下 HP）とメーリングリスト（以下 ML）を担当いたしました。HP は月に数回の更新作業を行ない、部大会、評議会等各行事報告&写真掲載、各クラブのブリテンが発行されると HP 上にリンク先を追加しました。各種書式もダウンロードが出来て便利な構成となっておりますので、ML と共に HP をご活用いただいたことと思います。

引き続き HP のご利用と投稿をお願いいたします。原稿及び写真送付先 nagasawa@jep.org

【2023-2024年度ML】

部役員、クラブ会長への情報発信にMLの活用をぜひお願いします！

◆部常任役員：bu2023ysjonin@jep.org

（送信先：部長・書記・会計・直前部長・次期部長）

◆部役員用：bu2023ysyakuin@jep.org

（送信先：部長・書記・会計・直前部長・次期部長・地域奉仕事業主査・会員増強事業主査・国際交流事業主査・ユース事業主査・部担当主事・エクステンション委員長・部大会実行委員長・部選出代議員・部ウェブマスター・部ヒストリアン・部LT委員長・部メネット委員・部監事）

◆部役員&クラブ会長：bu2023yskaicho@jep.org

（送信先：部役員及びクラブ会長）

Y 友広場に集まろう！

LT 委員長 伊藤幾夫（東京多摩みなみ）

コロナ禍もあって、ここ数年の東新部（他の部も同様ですが）は元気をなくしています。「ワイズは楽しい」はすべてのワイズが入会したときの印象だったのではないのでしょうか。「この原点をもう一度取り戻しましょう」と LT 委員会を基盤として、有志が集って「Y 友広場」が立ち上がりました。

5 月には「ワイワイウォーク江戸川」があり、部の枠を越えて多くのワイズと仲間が集いました。

メネット連絡員、なんとか卒業！

メネット連絡員 菅谷一江（東京）

東新部のメネット連絡員としてなんとか4年目を終え無事卒業することができました。

ご協力いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

2022年度は3回のメネット委員会を開催し、東日本区メネットアワーも対面で開催することができました。

メネットアワーの講演では野村路子さんより、テレジン収容所の子どものたちの絵が紹介されました。過酷な日々を一生懸命に生きた子どもたちの存在を、彼らが描いた絵を通して日本のたくさんの方に知ってほしいと語られていました。深尾部長の号令によりメネットの枠にとられずワイズメンを支える女子力を結集するため、「女子会」を企画しましたが、まだまだ道半ばです。何人かのメンバーより「メネットクラブ」についてアドバイスを頂きました。これから勉強していきたいと思います。メネット連絡員としての役割は必ずしも十分ではありませんでしたが、これからもクラブの垣根を越えてワイズの女子がともに力を合わせ、できること、楽しいことを頑張って実施していきたいと思えます。今後ともご協力をよろしく申し上げます。

YMCA 運動の担い手を共に

担当主事 小野実（東京多摩みなみ）

オール東新部を掲げて活動された深尾部長の所属する東京多摩みなみの担当主事として、今期は名前を連ねておりましたが、十分な働きができておらず、役員みなさまのお支えに感謝申し上げます。日本全体が少子高齢化・人口減少に向かう中で、YMCA 運動やワイズメンズクラブ活動の担い手を見つけ、育てるために、引き続きよろしく願いいたします。

東新部各クラブ会長の振り返り

世界の中でも期待されている

東京クラブ会長 進藤重光

本年はリアルの例会とともに ZOOM を活用し、ワイズを知らない方も参加できるように心がけました。卓話者も海外や遠方の地より、さまざまなジャンルからお招きし、久しぶりの本格的なウェルネス例会ではリアルな汗をかくことができました。実はこの一年間、World Giving Index (世界人助け指数) 2021 A global pandemic special report という報告書が脳裏を離れませんでした。「チャリティーズ・エイド・ファンデーション (CAF)」が、世界の国々の寛容度を採点しているのですが、調査項目の1つ「見知らぬ人を助けたか」という点においても、日本は114位と最下位でした。日本はなぜ総合でも最下位なのかについて、報告書は以下のような指摘をしています。「日本は歴史的に先進国としてはめずらしいほど市民団体が少ない。チャリティーの規則は複雑で、国の対策に対する期待が高く、組織化された非営利団体の登場は比較的新しい現象だ」と述べています。いま、組織化された非営利団体であるワイズのアクションは、世界の中でも期待されているとは言えないでしょうか。一年間のご支援ご協力を誠にありがとうございました。

折が良くても、悪くても励もう！

東京むかでクラブ会長 今井武彦

今期は、前期末に2名の会員の方の退会があり、マイナスからのスタートとなりました。さらに、今年こそは野尻ファミリーキャンプを再開しようと意気込んでいましたが、野尻学荘の少年たちへのコロナ感染防止のため中止となりました。大変、厳しい活動スタートでしたが、YMCA と共に歩く「むかでクラブ」として、今日的にYMCA の事業のリスクリングをやろうとして、9月例会 : YMCA

医療福祉専門学校校長・先生卓話、10月例会 : 今年の野尻学荘報告会 (担当主事・リーダー)、11月例会 : YMCA 学院長卓話、3月例会 : 国際ホテル専門学校校長卓話、4月例会 : 茨城 YMCA 総主事卓話を頂きました。多くの再発見、再認識する機会を与えられ感謝しております。

メンバー減少の中で、1年間、一步一步と歩み続けられたのは、メンバーの協力があったのと感謝しております。

心を尽くして YMCA のために

東京世田谷クラブ会長 小川圭一

コロナ禍で滞りがちであった二つの地域奉仕活動、YMCA 保育園ねがいの植栽と YMCA すずらん会は、前期後半に徐々に再開した。また、会長主題のもと YMCA スタッフの苦労話を聞かせてもらう本例会は対面と ZOOM のハイブリッド開催を継続できた。

また、YMCA すずらん会の地域展開として下北沢音楽祭 (7月) やアドベントのキャロリングインシモキタ、下北沢すずらん会も地元教会と協働して継続している。

クラブの統合を選ばなかった

町田コスモスのこれから

東京町田コスモスクラブ会長 加藤祐一

町田コスモスクラブは、日々何かと戦っているようなクラブです。例えばブリテンの発行のために原稿を書く私から始まり、例会の卓話やその準備に、区大会が無事に楽しく行けるように準備する。戦っているのは会長の私だけではありませんでした。AYC 推薦のために田畑ワイズが率いる長瀬さんと下山さんがその思いを文章

に込めて、奮闘してくださいました。これも自分との闘いかもしれません。よし行くぞ！ネパール。このようになったのはこの1年間に振り返ると、その3クラブ合同例会に堂々と卓話スピーチをされました経緯がありますし、そこにはオンラインでネパールにいる青年、ザビン君が登場していました。このような機会は、例会を合同で行いましょうと提言した谷治ワイズの姿を思い出すのです。彼のトラベルサービス精神が息づいているように彼女たちを国際へと羽ばたかせてくれるでしょう。

町田コスモスは、30周年を迎えようという意思表示を権藤書記が提言しています。素晴らしい気づきです。なるほど、この時にクラブ統合という視野もあるのだろうか考えてしまいます。そういう揺らぎ、ドキドキ感がワイズには必要です。今年はこのドキドキの連続、そしてこれからもワクワクしながらそれぞれのミッションの成就するための場として町田コスモスをみなさん、愛してください。

混迷を極め

東京センテニアルYサービスクラブ会長 徐鐘煥

東京センテニアルYサービスクラブは、コロナ禍開始以降、例会の定期開催が困難になり、ZOOM等を用いたコミュニケーションが難しいメンバーも多く、会の活動はほぼ休止状態が続いています。クラブが支えてきた在日本韓国YMCAも、運営が混迷を極め、2023年3月末日をもってそれまで東京で行われてきた全事業が再開時期未定のまま休止されました。

こうした状況の中、2022-23年度末でのクラブ解散も検討されましたが、メンバー間の意思確認が間に合わなかったことから、2023-24年度は暫定的に会を存続させながら、早急に今後の方針を決定し、その実行に向け動くこととしました。

みんなで喜びをシェアしよう！

東京多摩みなみクラブ会長 伊藤幾夫
昨年度から、3クラブ合同例会を開催している東京町田コスモスクラブ、東京町田スマイリングクラブとの協力関係、さらに、今期東新部に部長を輩出しているクラブとして、深尾部長が掲げる「オール東新部」にも呼応するかたちで、「ワイズの喜び」をどうシェアしていったらよいかをクラブを挙げて進めています。

11月には、初めて、町田ボランティア連絡協議会の福祉バザーに合同で出店し、当クラブはぼんぼこ農園で収穫した野菜（サツマイモ、里芋）を販売しました。12月は3クラブ合同例会として「町田YMCA市民クリスマス」を開催し、多数（32名）の参加者でにぎわいました。人数が多いと活気もあり、新しい出会いもできることをお互いに感じました。新生「東京多摩スマイルクラブ」の誕生は大きな喜びです。

東京多摩スマイルクラブ発足

東京町田スマイリングクラブ会長 為我井輝忠
この1年間、我がスマイリングクラブは「感謝、信頼、地固め、そして成長！」をモットーとし、活動を続けてきました。しかしながら、新たな年度を迎えるに当たって正直なところ、道半ばとの思いが強いです。やりたいことは多くありながら、手を付けることもできず断念したり、途中で引き返すようなことも多くありました。これまで過去1年半に及ぶ多摩地区3つのクラブ（町田コスモス、多摩みなみ、町田スマイリング）の合同例会を経て、合同化へ向けて動いてきましたが、今年の前半期に町田コスモスクラブが参加しないことを表明したために2クラブだけの統合となりました。新年度7月早々に「東京多摩スマイルクラブ」の名の下で統合発会式が行われるにことに至りました。これまで活動を支えていただいたスポンサークラブと近隣のクラブの皆様にお礼を申し上げます。感謝！

第4号議案

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区 東新部会計 2022-2023年度 決算報告書(案)

2022-2023年度 東新部部长 深尾 香子

同 部会計 綿引 康司

2023年6月30日

1. 経常会計

収入の部	予算	実績	対予算比	備考
前年度繰越金	600,488	600,488	0	
部費	262,800	262,800	0	対象会員数73名×3,600円
リーダーズフォーラム負担金	70,000	70,000	0	7クラブ×10,000円
東日本区事業補助金	124,000	124,000	0	対象会員数80名×300円+100,000円
その他収入(利息など)	5	9	4	
特別会計からの繰入	0	0	0	
部大会余剰金	0	3,490	3,490	部大会収支差額(益)
収入合計	1,057,293	1,060,787	3,494	
支出の部	予算	実績	対予算比	備考
リーダーズフォーラム 部負担金	140,000	140,000	0	7クラブ×20,000円
部長活動補助費	24,000	24,000	0	深尾部長
部役員活動補助費	28,000	28,000	0	11名14職位に対して支給
部大会関連事業費	80,000	80,000	0	第26回東新部大会運営費
評議会・役員会費	80,000	40,500	-39,500	東京クラブ ZOOM借用:10500/東京YMCA東陽町会議室借用:30000
事務費	5,000	0	-5,000	
コピー印刷費	5,000	2,700	-2,300	第3回評議会資料作成費
通信費	5,000	0	-5,000	
部報作成費	45,000	12,000	-33,000	部報第1号作成費
広報費	20,000	20,000	0	ホームページ管理費
STEP派遣支援費	0	0	0	
BF代表等受入費	10,000	0	-10,000	
セミナー等研修運営費	30,000	304	-29,696	EMCセミナー印刷費
1-3コンプレックス支援金	10,000	0	-10,000	
献金・寄付	0	0	0	
表彰費	10,000	10,000	0	むかでクラブ城井様表彰
雑費	5,000	12,047	7,047	振込手数料・弔電(町田J&E谷治会長)他
特別会計繰入	0	0	0	
予備費		8,000	8,000	城田さん交通費補助(第2回評議会承認)
小計	497,000	377,551	-119,449	
次年度繰越	560,293	683,236		
支出合計	1,057,293	1,060,787	-119,449	

2. 特別会計(東新ファンド)

収入の部	予算	実績	対予算比	備考
前年度繰越金	775,129	775,129	0	
CS資金収入	91,250	91,250	0	対象会員数73名×1,250円
ASF資金収入	18,250	18,250	0	対象会員数73名×250円
その他収入	0	16,000	16,000	メタノミアへの献金未済分(第3回評議会)
経常会計からの繰入	0	0	0	
収入合計	884,629	900,629	16,000	
支出の部	予算	実績	対予算比	備考
新クラブ設立準備金	100,000	39,620	-60,380	多摩スマイルバナー代支援:36300/同クラブ統合会議会場費:3320
CS事業(新規事業補助金)	50,000	0	-50,000	
CS事業(年度表彰)	50,000	20,000	-30,000	多摩みなみクラブ表彰
ASF事業	20,000	0	-20,000	
クラブ入会費補助	60,000	6,000	-54,000	寺澤邦彦様(町田J&Eクラブ)
その他の事業	150,000	11,052	-138,948	女子会開催費用(1月7日)
小計	430,000	76,672	-353,328	
予備費(次年度繰越金)	454,629	823,957		
支出合計	884,629	900,629	-353,328	

繰越金内訳	予算	実績	対予算比	備考
経常会計繰越金残高	560,293	683,236	122,943	
特別会計繰越金残高	454,629	823,957	369,328	
繰越金 合計	1,014,922	1,507,193	492,271	

臨時評議会議案提案書（書面決議） 報告

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 東新部

2022 - 2023 年度

臨時評議会議案提案書（書面決議）

提案年月日	2023年6月15日
提案者	伊藤幾夫
役職名	東新部 LT 委員長
クラブ名	東京多摩みなみクラブ

議案名	統合新クラブのバナー製作費支援について
提案趣旨	<p>今年度、東新部として、会員増強への新たな試みとして、「クラブの統合」について検討を進めてきました。2月25日には「EMCセミナー」を開催し、会員増強のための発題を加藤会員増強事業主査、伊藤 LT 委員長が行い、「クラブ統合」について、具体的な提言を行い、参加者から賛同を得ることができました。</p> <p>これを受けて、具体的に3クラブ（東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリング）の統合を進めてきました。5回の統合会議を開き話し合いを行ってきましたが、残念ながら、東京コスモスクラブが見送りの判断をし、結果的に2クラブの統合ということになりました。</p> <p>7月から、統合新クラブ「東京多摩スマイルクラブ」のスタートにあたり、新しいバナーが必要となります。</p> <p>東新部として、バナー製作費の実費（約3万円）を支援することを提案します。</p>
提案内容	<p>東新部の特別会計（東新ファンド）の費目に「新クラブへの設立準備金」として10万円が予算化されています。これは、本来は新クラブ設立のための準備金（バナー製作費、チャーターパンフレット作製費等）に用いられることを想定しています。</p> <p>統合新クラブについても、バナー製作費等が発生しますので、新クラブ設立に準じた扱いでバナー製作費実費（約3万円）を支援する。</p>

書面決議 表決結果

議決権者：役員12名、各クラブ3役13名 計25名

賛成20名 反対2名 無投票3名

以上により、承認されました。

2023年6月26日

東新部部长 深尾 香子（東京多摩みなみ）

同 書記 伊藤 幾夫（同）

一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
2023-2024 年度《前期》現勢

2023.7.1現在

8.1

部名 クラブ名	2021	2022	2022	2023	2023.7.1			直近 増減
	7.1	1.1	7.1	1.1	入会	退会	差引	
北海道部								
札幌	8	9	9	9	4	0	13	4
北見	11	11	10	10	0	0	10	0
十勝	18	18	18	18	0	1	17	△1
札幌北 (2023年7月合併)	8	8	8	8	0	8	0	-8
3	45	46	45	45	4	9	40	△5
北東部								
仙台	14	14	12	12	0	0	12	0
前橋	7	7	6	6	0	0	6	0
宇都宮	32	32	31	30	0	3	27	△3
仙台青葉城	13	13	13	15	0	0	15	0
*足利	3	3	3	3	0	0	3	0
会津 (2022年1月解散)	5	—	—	—	—	—	—	—
宇都宮東	7	7	7	6	0	0	6	0
郡山	6	7	7	7	0	0	7	0
もりおか	14	14	14	14	3	1	16	2
仙台広瀬川	14	14	15	15	0	3	12	△3
石巻広域	20	22	21	20	0	1	19	△1
10	135	133	129	128	3	8	123	△5
関東東部								
東京江東	21	21	21	23	0	2	21	△2
千葉	11	11	11	11	2	3	10	△1
東京グリーン	16	15	15	14	2	1	15	1
埼玉	8	7	6	7	0	0	7	0
東京北 (2023年6月解散)	11	11	11	10	0	10	0	-10
所沢	11	11	10	10	1	1	10	0
東京ひがし	13	12	12	12	1	0	13	1
川越	10	10	9	9	0	0	9	0
茨城	9	9	7	7	1	0	8	1
東京ベイサイド	14	14	13	13	1	2	12	△1
千葉ウエスト	8	9	9	9	1	3	7	△2
10	132	130	129	130	9	22	117	△13
東京								
東京	23	24	25	24	0	0	24	0
東京むかで	12	11	9	9	2	2	9	0
東京世田谷	14	14	14	13	1	1	13	0
東京町田コスモス	8	9	9	8	1	1	8	0
*東京センテニアル	8	8	7	3	0	0	3	0
東京多摩スマイル (東京多摩みなみ)	10	10	11	12	5	0	17	5
東京町田スマイリング (2023年7月合併)	9	5	5	6	0	6	0	-6
6	84	81	80	75	9	10	74	△1

部名 クラブ名	2021	2022	2022	2023	2023.7.1			直近 増減
	7.1	1.1	7.1	1.1	入会	退会	差引	
あずさ部								
甲府	30	30	30	28	0	6	22	△6
東京西	12	12	12	12	0	1	11	△1
東京武蔵野多摩	10	10	9	9	1	2	8	△1
*松本	10	11	11	11	0	0	11	0
東京サンライズ	18	18	17	17	1	3	15	△2
甲府21	48	51	53	50	4	13	41	△9
東京八王子	13	12	12	12	0	0	12	0
東京たんぽぽ	9	8	7	7	0	0	7	0
*富士五湖	11	11	11	12	0	0	12	0
*長野	10	8	8	8	0	1	7	△1
甲府やまなみ	—	—	—	11	1	0	12	1
11	171	171	170	177	7	28	158	△19
湘南・沖縄部								
横浜	12	12	12	12	1	1	12	0
鎌倉	9	11	11	11	0	1	10	△1
横浜とつか	12	11	11	11	0	0	11	0
厚木	12	11	10	12	3	2	13	1
金沢八景	11	11	11	12	0	0	12	0
横浜つづき	16	16	16	16	0	1	16	△1
横浜つるみ	10	11	12	12	0	0	12	0
7	82	83	83	86	4	5	85	△1
富士山部								
*熱海	43	43	41	41	0	3	38	△3
*沼津	15	15	15	14	0	2	12	△2
*伊東	18	17	11	11	1	0	12	1
*三島	6	6	6	6	0	1	5	△1
*下田	6	6	6	6	0	0	6	0
*熱海グローリー	15	15	13	12	2	0	14	2
御殿場	14	14	12	13	1	2	12	△1
富士	13	14	12	12	0	0	12	0
富士宮	15	15	16	16	0	0	16	0
9	151	150	134	133	4	8	129	△4
東日本区合計								
2021	2022	2022	2023	2023.7.1			直近 増減	
7.1	1.1	7.1	1.1	入会	退会	差引		
59	58	58	59	クラブ数			58	△3
800	794	770	774	40	88	728	△48	

*印のクラブは、担当主事がないか、または在籍していても複数クラブ担当のため、当該クラブの人数には含めません。

☆札幌・札幌北:合併(存続:札幌)

☆東京多摩みなみ・東京町田スマイリング:合併して東京多摩スマイルに名称変更(存続:東京多摩みなみ)

編集後記

部報第2号をお届けします。当初の発行予定は7月末でしたが、本日、部大会(2023年10月7日)での配布となりました。原稿はみなさんからいただいているながら発行が遅れたことをご詫言申し上げます。深尾部長のエルマー・クロウ賞の授賞式が部大会で行われるのでこのタイミングと考えました。編者のPCスキルの未熟により、誌面で見づらい点があることをお許しください。上記の半年報にあるとおり、ワイズの現勢はきびしいものがあります。英知を絞って乗り越えて行きましょう。(伊藤)